2.F.6 その他利用（Other Applications）（HFCs）

１．排出・吸収源の概要

１.１ 排出・吸収源の対象及び温室効果ガス排出メカニズム

研究・医療の用途に使用される部品に HFCs が充填される。

研究・医療の用途に使用される部品に充填された冷媒量については、「2.F.1. 冷蔵庫及び空調機器」における他区分の冷媒に含めて排出量が算定されていると考えられるため、専門家判断により「IE：他に含む」としている。

なお、本排出源は代替フロン（HFCs）が対象となることから、PFCs 及び SF_6 については、「NA：活動は存在するがガスの排出・吸収が原理的に起こらない」としている。

１.２ 排出・吸収トレンド及びその要因

算定された「2.F.6 その他利用」からの HFCs 排出量については、「2.F.1. 冷蔵庫及び空調機器」からの HFCs 排出量に含めて報告している。

２．排出・吸収量算定方法

「2.F.1. 冷蔵庫及び空調機器」を参照。

３．算定方法の時系列変更・改善経緯

表 1　初期割当量報告書（2006 年提出）以降の算定方法等の改訂経緯概要

	2010 年提出
排出・吸収量算定式	研究用・医療用途等の HFCs の排出量の注釈記号を変更（NE→IE）。
排出係数	－
活動量	－

（１）初期割当量報告書における算定方法

本排出源（旧：2.F.6.）は代替フロン（HFCs）が対象となることから、PFCs 及び SF_6 については、「NA」とし、HFCs は研究用途が考えられるが使用実態が不明なため、「NE：未推計」としていた。

（２）2010 年提出インベントリにおける算定方法

冷媒、発泡剤以外の用途（研究用・医療用途等）の HFCs の排出量を「NE」として報告していたが、「2.F.1 冷蔵庫及び空調機器」における他区分の冷媒に含まれているものと考えられるため、専門家判断により「IE」として報告することとした（現行の算定方法と同様。）。